

2009年度 大学院法務研究科
法学既修者認定試験
会社法
(問 題)

会社法上、次の行為は許されるか。理由を付して答えなさい。

- (1) 株主名簿上の株主 A に対して臨時株主総会の招集通知が発せられなかった場合において、当該招集通知を受け取っていた株主 B がその株主 A に対する招集通知漏れを理由にして、当該臨時株主総会の決議の取消しを求めて訴えを提起すること。
- (2) 決議の内容が法令に違反していると理解して株主総会決議無効確認訴訟を決議の日から 2 ヶ月目に提起したが、その後、決議の日から 4 ヶ月を経過したときに、それが定款に違反しているに過ぎないことに気付き、決議取消しの訴えに改めること。
- (3) 発行済株式の大半を保有する株主が死亡した後、遺産分割の協議が整わず、相続した株式について権利を行使する者を定め会社に通知することができない状況のもと、株主総会を開催することなしに新たな取締役が選任された旨の登記がなされた場合に、共同相続人の一人が株主総会決議の不存在の確認を求めて訴えを提起すること。